

赤潮・貧酸素情報（2）

令和7年9月11日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

9月11日（木）に全域調査を行った結果、酸素濃度は回復傾向にあるものの、中部海域での酸素濃度の低下が確認されました。

＜貧酸素の状況＞

○貧酸素水塊が中部海域へ移動しています。先週よりも酸素濃度は回復したものの、中部海域の底層（水深10～15m）では、依然50%を下回っています。（図1）

※貧酸素時の酸素濃度の基準（酸素濃度30%以下）

○南部沿岸域の酸素濃度の低下は解消されています。

＜今後の対応＞

○今後の天候や海況によっては、海域が拡大することもあります。

○漁獲物を海中に留める漁業（かご漁業など）では操業に十分注意して下さい。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、増田)までご連絡下さい。

9/11 漁場調査結果

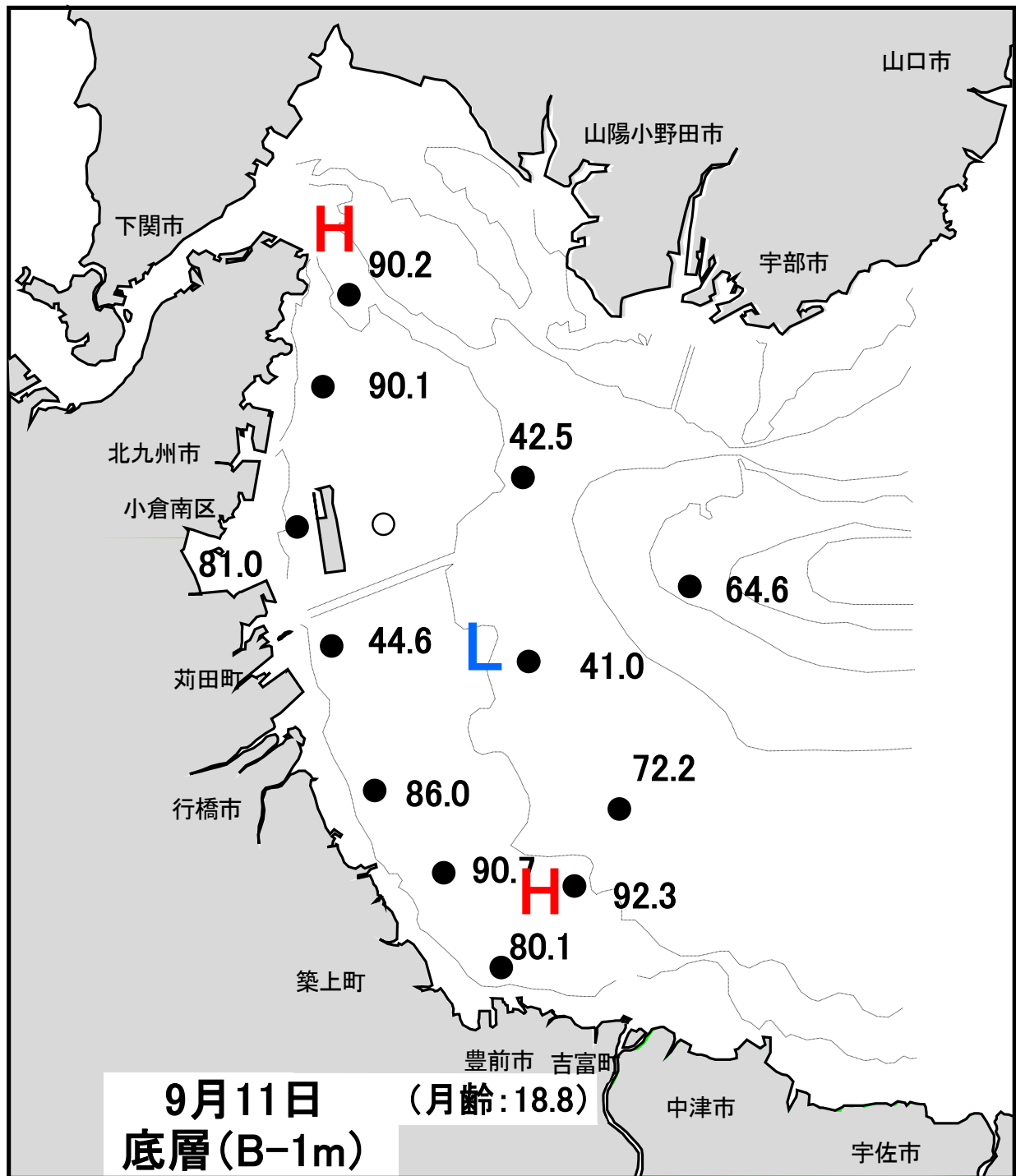


図1 各調査点の底層の酸素濃度(%)